

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」(平成22年度採択)

中間評価結果

番号	研究名	研究代表者	評価
22-2	混合交通流の自動解析に基づく交通安全性・円滑性評価手法および交通制御・道路運用手法の構築	京都大学大学院 准教授 須崎 純一	B
<p>< 研究の概要 ></p> <p>本研究では、画像処理技術を活用して交通流の自動解析を実現し、それに基づいて交通流特性をモデル化し、最終的に交通安全性・円滑性評価手法の構築、交通シミュレータの開発、および交通制御・道路運用手法の策定を目的とする。</p> <p>< 中間評価結果 ></p> <p>研究の進捗状況、見通しともに概ね良好であるものの、画像抽出精度の確保等に課題があることから、指摘事項を踏まえ、研究を推進することが妥当である。</p> <p>< 今後の研究計画・方法への指摘事項 ></p> <ol style="list-style-type: none">1. 本研究において実現可能な達成目標について、実務家と協議の上、明確に設定いただきたい。2. 今後どのような指標をもとに交通安全・円滑性の手法を構築するのか、具体的なプロセスを明示いただくとともに、本研究成果の道路行政での具体的活用方法について、明らかにしていただきたい。3. 走行軌跡の推定過程は、本研究の目的に照らして、実時間で実行される必要はないと思われるので、完全自動にこだわらず、人手による微修正を含めて、推定精度を向上させることに力を注いでいただきたい。			